

2022/6/2-2

(オマケの英語教室 get on and ride on/ image-training) 書庫版



「是からバスに乗るから、あとで電話する」

“I'll get on the bus from now, then I'll phone later”

この場合の get on はバスに「乗車する」の意味です。

しかし、これを

“I'll ride on the bus from now, then I'll phone later”

と ride on を誤って使ってしまうと

「これからバスに乗る（バスの屋根か何かに跨る）から、あとで電話するよ」

と変な話になってしまいます。

元々 ride on は ride on the horse 「馬にまたがる」からきており、他には ride on the bicycle 「自転車に乗る」などがあります。

(余談：こうしてみると get on は多人数用の乗り物でたいていの場合屋根のある box タイプのものに使い、ride on は一人用で屋根のない open なタイプのものに使われているようです。

Big wave に「乗る」は ride on the big wave ですが、この場合は「跨る」というより「振り落とされないう様にしがみついて乗る」のイメージで、それは上記の horse や bicycle にも共通するように思われます)

基。

バスに「乗車する」の意味なら本来 get on とすべきところ、誤って ride on を使ってしまったことで、耳にした外国人さんは当然ながら「バスの屋根か何かに跨る」絵姿を想起してしまい内心

“What? Is it true? Is he a stuntman?”

「何？ほんまかいな？奴はスタントマンなのか？」

と思われるのがオチ。

なので、英語学習の場合には日本語の訳語をいったん perfect delete(完全消去)するなり言

語化文字化作業そのものを敢えて飛ばし、get on なら「乗る」ride on なら「跨る」などの英単語の原義自身を持つ音声的映像的イメージやその連想効果産物のみを念頭に（元に）話すなり書くなりされる訓練をした方がよろしいかと老婆心ながら思っております。

つまり英語学習の場合敢えて言葉に訳さず、イメージや連想産物だけを蓄えていくことがより効果的で達成の早道になるのではなかろうかと。

以上、英語学習に関する

「イメトレの強いお勧め」

でした。